

■ 音楽で貢献こうけん

小松 清

こまつ きよし

出身地 由利本荘市（旧東由利町）

1899年（明治32年）～1975年（昭和50年）

フランス現代音楽の紹介や演奏しょうかい えんそう、日本民族音楽の創造運動そうぞう じんりよくに尽力、また音楽評論ひょうろんでも活躍かつやくする。代表的な作品ぶ しょうげきに舞踊劇「トメリー物語」「太古の真昼」、仏文学訳書やくしょにミュッセ『世紀児の告白』『二人の恋人こいびと』などがある。



年譜

- 1899年 由利本荘市ひがしゆり（旧東由利町）に生まれる。
- 1925年 東京帝国大学文学部卒業。
- 1936年 東京高等学校教授。
- 1949年 東京大学教授。
- 1953年 『西洋音楽の鑑賞かんしょう』を刊行。
- 1961年 東京芸術大学音楽学部教授。
- 1946年 民謡芸術協会会長。全日本鼓笛バンド連盟理事こてき れんめい。
国際音楽評議会日本委員会委員長。
- 1967年 東海大学教養学部教授。
- 1975年 東京都で没。75歳ぼつ さい。